



文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）」
群馬大学「多文化社会の構築に貢献する人材の育成」（平成17-20年度選定事業）

群馬大学 第7回「多文化共生シンポジウム」

まちに飛び出すわかものたち

－ 大学・地域の協働活動で学生はどう育つか －

【概要】

本学が平成17年度より実施している特色ある大学教育支援プログラム「多文化社会の構築に貢献する人材の育成」について、人材育成の方法に焦点をあてたシンポジウムを実施する。

多文化共生社会で活躍する職業人に求められる資質は、国籍・世代・職種を超えて地域と協働できる人材である、という仮説のもと、多文化地域を前提とする本学の事業報告を行い、その成果と課題について、一橋大学「人間環境キーステーションとまちづくり授業」の事業を参考に、人材育成の方法を探る。

【シンポジウムプログラム】

日時 平成18年12月6日（水）13:00～17:30

場所 群馬県女性会館 2階 ホール

全体進行 寺石雅英 群馬大学社会情報学部教授・地域連携推進室員

13:00～13:15

開会挨拶 寺石雅英 群馬大学社会情報学部教授・地域連携推進室員

主催者挨拶 白井紘行 群馬大学理事（企画・教学担当）

来賓挨拶 小寺弘之氏 群馬県知事

曾我孝之氏 前橋商工会議所会頭

13:15～14:15

基調講演

大学と地域との協働 - その社会的背景・現状・今後の展望 -

天野郁夫氏 東京大学名誉教授・前国立大学財務・経営センター研究部長

14:25～15:35

事業報告

平成 16-19 年度 文部科学省特色ある大学教育支援プログラム選定事業
一橋大学「人間環境キーステーションとまちづくり授業」

推進責任者 一橋大学教授林大樹氏と学生スタッフによる事業報告

平成 17-20 年度 文部科学省特色ある大学教育支援プログラム選定事業
群馬大学「多文化共生社会の構築に貢献する人材の育成」

推進責任者 群馬大学助教授結城恵と学生スタッフによる事業報告

15:35～15:45 休憩・質問票回収

15:45～17:25

パネルディスカッション

国籍・世代・職種を超えて地域と協働する人材はどう育つのか

司会：結城 恵 群馬大学助教授

渡辺 辰郎 一橋大学学生

岡田 佳歩里 群馬大学学生代表

林 大樹氏 一橋大学教授

辻 朋子氏 中小企業診断士 国立大学法人一橋大学経営協議会委員

加藤 博恵氏 大泉町広報国際課 国際協働グループ

17:25～17:30

閉会挨拶

松田直 群馬大学教育学部長

【実施報告】

1. シンポジウムの成果

一橋大学の「人間環境キーステーションとまちづくり授業」と本学の「多文化社会の構築に貢献する人材の育成」の取組は、大学と地域とが協働で事業を推進することに共通点がある。大学と地域とが「人材育成」という観点からどのように協働できるのかを、教員・学生・行政・NPO の立場から具体的な取組を元に意見交換することにより、目的を共有すること・情報を共有すること・参加者が対等であることという、3つの原則を導き出すことができた。さらに、協働しやすい関係は、参加者・機関それぞれが特徴を持つ必要があることも、確認された。

200名を超える参加者は、遠方よりの参加者も多かった。また、教育関係者のみならず、地域ボランティアや企業関係者・行政関係者なども数多くみられ、多様な領域で本テーマに対する関心が高まっていることがわかった。このことは、「協働」の対象にさらなる広がりが期待できることを示していると思われる。

2. 今後の事業への反映

シンポジウムで抽出された3つの原則（目的を共有すること・情報を共有すること・参加者が対等であること）が、十分に達成されているのか、これまでの事業を反省的にふり返し、今後の事業に反映する予定である。特に、外国人住民の視点をどう反映するのかということ、ならびに、地域のリソースとしての「学生」を地域にどのように認知・活用してもらうのかの2点について、今後の事業への課題として特に取り組んでいきたいと考えている。

一橋大学との意見交換・交流は、その後も、事業や研修を共同企画するなどの計画が進められており、今後も、その内容の拡充を推進したい。

3. 参加者 207名

【シンポジウムの様子】



学生スタッフによる取組の報告



200名を超える参加者



天野郁夫先生の基調講演



まちに飛び出すわかものたち